

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」網島校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所を楽しみに思える、環境作りと支援体制	お子様が好きなキャラクターや遊びからヒントを得て教材を作ったり、モチベーションが上がるようにご褒美シールを作ったりしています。また、抵抗感のある課題に対しては好きな遊びやキャラクターから無理なく挑戦できるように工夫しています。	支援目標に沿いながら、お子様が拒否もなく課題に取り組めるように、体調・状況などに合わせて取り組み続けられるよう、情報収集や共有を欠かさずに行ってまいります。
2	保護者の方が相談しやすい環境作り	支援の見学の機会を提供しながら、最近の様子を伺ったり、保護者の方のお悩みなどを気軽にお話していただけるような環境作りを心掛けています。また、支援中だけでなくLINEや電話などでも対応させていただいております。	事前に日程相談をご提案し時間の確保を行ったり、現在は、1対1でのご相談もできる環境となっておりますので活用していただければと思います。
3	お子様に寄り添った支援内容	その日のコンディションにより、普段できていること、好きなことも思うようにいかないことがあります。いらした時、最初に保護者の方からその日の様子をお伺いして支援内容を急遽変更をすることもあります。	お伺いしたお子様にあった出来事や不調など情報共有してくださったことは、隙間時間やツールを用いて職員に共有しいつでも確認できるようにしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるがエレベーターがない	エレベーターがない為、バリアフリーの環境とは言えない状況です。	手すりはありますが怪我がないように、階段を使用する際は常に安全に気を付けております。状況によって職員が1階へ迎えに行く対応もございます。また、部屋の中は段差や躓きがないよう環境を整えています。
2	事業所内のスペース確保が難しい	同時刻の人数に配慮をしておりますが、状況によっては狭く感じられるかもしれません。	粗大運動や小集団などスペースが必要な際、パーティションや机、椅子の置き場所を工夫しています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」網島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 17名

回収数 11名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2	0	0	工夫して活動しているが、部屋は狭い	お子様の安全に考慮し安心して過ごすことができるように、パーティションなどを活用し工夫をしながらスペースの確保を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	0		法令で必要とされている配置数に加え、指導員 1 名以上(常勤換算)配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1	0	0		教室内の生活空間においては、バリアフリー・クッション材を使用し安全面への配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		毎朝掃除・換気を行っております。 お子様の特性に合わせた空間の設定をさせていただいております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0		お子様一人ひとりに合った支援を提供していくことができるように努めてまいります。 職員によって支援の質の差が出ないように、共通認識を図り、改善してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		支援プログラムは校舎内に掲示し、保護者のみなさまが分かりやすいものになるよう努力いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	就学に向けて、文字の書き方やドリル形式の取り組みへのガイダンスなど、適切にいただいていると思います。	お子様のご様子やニーズに合わせた計画を作成していくことができるように、引き続き支援内容を設定してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		ガイドラインの教室掲示をしています。個別支援計画の説明の際に、より分かりやすく支援に必要な項目の選択・支援内容の設定を説明しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		計画を確認しながら計画に沿った支援を行っていくよう努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0		お子様のご様子やニーズに合わせた計画を作成していくことができるように、引き続き支援内容を設定してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	3	0		「きらり」では個別療育を基本とさせていただいており、現在は室内での活動をメインとさせていただいております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		面談時や契約更新時に丁寧な説明を心掛けています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		契約時、または支援計画更新時に合わせ、計画書を用い、説明を実施しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	3	1		研修会やペアレントトレーニングは実施しておりません。毎回の支援後のフィードバックにて助言等行っております。 また、定期的な面談のご提案をさせていただき、家族支援を実施しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	0	0	0	LINEでのやりとりがやりやすい	フィードバックの機会や、LINEやお電話などを活用しながら近況の共有を行っています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0	手厚い面談、支援をさせていただいています。	今後もお力になれるよう努力してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	いつも親子に寄り添ってくださりありがとうございます。	お子様だけでなく保護者様にも寄り添いながら、一緒に考えて行けたらと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	4	2		現在、保護者会は実施しておりません。ご希望ございましたらお気軽にご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	0		ご要望やご相談には、可能な限り、丁寧に迅速に対応をさせていただいております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		支援後のフィードバックの時間を利用して情報伝達を行っています。また、お子様や保護者様に合わせ、メールや連絡帳を利用し、より良い方法をご提案してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	0		つなしま通信の発行と事業所ブログ・Instagramでの支援の内容や活動内容の報告を実施しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		鍵付きのロッカーに個人ファイル等を保管しております。 取り扱いについて利用目的の特定と明示を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	1		校舎内に各マニュアルを掲示しております。 定期的に訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2	0	1		月1回の避難訓練の実施をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2	0	0		安全計画を校舎内で掲示しております。 安全計画について定期的に社内研修や外部研修を受講し安全性の向上に努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	1		事故、怪我等発生しないように努めてまいります。 万が一の際はしっかりとご説明いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		皆様に安心して通っていただけるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0		目的意識や楽しみをもって、自ら進んで支援を受けていただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	もう少し振替ができると、よりありがたいです。	おかげさまで、たくさんの方々にご利用いただいております。 できるかぎり振替ができるよう、調整してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」網島校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションで区切ったり、一度に利用する人数を調整しております。	法令を遵守したスペースを確保していますがスペースに限りがあるのが現状です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされている配置数に加え、指導員 1 名以上(常勤換算)配置しています。	1人でも休むと一気に人員不足になってしまうこともあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要に応じた対応を引き続き行っておりま	2階にあり、上がる手段は階段のみ。指導員が迎えに行くことがあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子様の怪我に繋がらないよう、手を繋いでの昇降のお願い等の声掛けをしております。	継続して環境設定を行うことができるように努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は無いが、クールダウンできるスペースを確保しております。	個室はない状況です。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にミーティングを開き、共有、改善の話し合いの場を設けています。	今後もミーティングを行い、より良い支援が提供できるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開き、共有、改善の話し合いの場を設けております。	定期的にミーティングの時間を設けるように引き続き努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開き、共有、改善の話し合いの場を設けております。	職員全員が共通認識を持てるように努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在、第三者による外部評価は行っていないが、内部職員の定期的な巡回や指導を受けております。	内部職員の評価結果を元に改善してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に内部・外部研修に参加しております。	指導員によって支援の質が変わらないように努めてまいります。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPにて支援プログラムを公表しております。	適宜、必要に合った支援プログラムかどうか確認してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		粗大運動や小集団などスペースが必要な際、パーティションや机、椅子の置き場所を工夫しています。	引き続き定期的に行ってまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス担当者会議を開き、職員と共に個別支援計画を作成しております。	今後もニーズを考慮し、適切な個別支援計画を作成してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を都度確認し、計画に沿った支援を行っております。	引き続き計画を確認しながら計画に沿った支援を行っていただけるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		個別支援計画を都度確認し、計画に沿った支援を行っております。	今後もニーズを考慮し、適切な個別支援計画を作成してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って、お子様に必要な支援を選択し、設定をしています。	今後もニーズを考慮し、適切な個別支援計画を作成してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		当日の支援担当の指導員のみではなく、相談・検討する場を設けております。	定期的にお子様の事例を共有・議論するケース検討会を開催していただけるように努めてまいります。

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		次の学びになる成功体験を重視し、お子様が自発的に適切な行動をとれるよう、学びやすい指導環境づくりとして、プログラムの変更を行っております。	一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせ効果的に楽しく学べる指導を追求します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		アセスメントを基に、適宜必要に応じて集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成しております。	ニーズに合わせて個別支援・小集団支援を適宜実施していくことが出来るように支援を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		業務によってミーティングが実施できないこともあり、職員間での情報共有のツールを利用し確認等を行っております。	引き続き、週1回のミーティングや、随時相談しながらチームで支援を行っていくことができるように努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	状況によって後日と、時間が空いてしまう事があるが確認できるようにしております。週1回のミーティングを行っておりますが、適宜話し合いの時間を設けております。	空き時間が少なく業務によってミーティングが実施できないこともありますが、共有の仕方を工夫してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり見直しを行うことで、成長や取り巻く環境の変化に合わせて支援内容や方法を更新しております。	記録漏れ等ないように引き続き努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		事業所内・保護者様を中心に実施しております。	事業者内・保護者様とともにモニタリングを行い、計画についてのPDCAに沿って判断・検討を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		定期的にミーティングを開き、職員全体で共有、改善の話し合いの場を設けております。	該当する利用者様の情報を事業所内で共有し、その内容を伝えられるようにしてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の要望に応じて、関係機関連携の実施をしています。保育園・幼稚園側の受け入れに合わせ実施しており、ケース会議の参加や電話での情報共有の機会を設けております。	必要に応じた体制を随時整えてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	必要に応じた体制を随時整えてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	引き続き、必要に応じて情報共有を行っていけるように努めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		横浜総合リハビリセンターとの療育参観での連携を実施しております。	必要に応じて機会を設けることができるように努めてまいります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		お子様同士の交流は現状実施していません。地域の幼稚園・保育園の状況共有をさせて頂いております。	必要に応じて機会を設けることができるように努めてまいります。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援後にフィードバックの時間を設けています。感染予防に留意をした取り組みに努めております。	引き続き、職員全員が同じ共通理解を持てるように努めてまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援のフィードバックや事業所内相談にて対応をしております。	チラシなどに掲載し情報提供は行っているがまだ不十分。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時・面談時に管理者を中心に実施しています。職員には、研修で情報共有学びの機会を設けています。	職員全員が同じ対応をすることが出来るように努めてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意向をお伺いし、お子様が直接伝えることが難しい場合は普段の様子とやりとりの中から汲み取り保護者様に確認をしています。	引き続き、必要に応じた機会を設けることができるように努めてまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書を提示しながら説明をし、ご納得いただいた上で承諾のサインをいただいております。	引き続き計画を二ーズを確認しながら、一人ひとりに合った計画を作成し、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバック時やLINE・メール・電話・事業所内相談支援の提案し、相談に対し助言を行っております。	引き続き、丁寧かつ迅速な対応を心掛けてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在実施出来ていません。	必要に応じて機会を設けることができるように努めてまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご要望に応じて、速やかに対応を心掛けております。	引き続き、丁寧かつ迅速な対応を心掛けてまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		つなしま通信の発行と事業所ブログ・Instagramでの支援の内容や活動内容の報告を実施しております。	継続的に発信をしていくことができるように努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きキャビネットにて個人情報を保管しています。個人情報の取り扱いに関するマニュアルの策定をしております。	引き続き、取扱いに十分留意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的情報等の活用を行っております。	適宜、試行錯誤を行い配慮をしてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	見学対応は教室開放時間を設けてまいります。	必要に応じて機会を設けることが出来るように努めてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		教室内での掲示や閲覧書類として周知しております。定期的に研修に参加をし、職員間で共有・訓練を行っております。	定期的にマニュアル等確認し、周知活動を行っているように努めてまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に研修に参加をし、職員間で共有・訓練を行っております。	随時対応出来るように、引き続き定期的に訓練を行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時や都度共有をさせていただいております。	定期的に確認を行ってまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無を確認しています。食事の提供はしておりません。	定期的に確認を行ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的な研修と訓練を実施しております。	引き続き、安全管理に努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時・面談時に説明を行っております。	適宜、周知してくことができるように努めてまいります。

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度作成・共有を行っています。お子様に対するヒヤリハットだけではなく、場所や時間による気づきも共有しております。	事故、怪我等発生しないように予防に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルの策定をし、横浜市の虐待防止研修に参加するとともに内部研修を適宜実施しております。	適宜、職員間で確認を行い虐待の防止に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に丁寧に説明を行い、個別支援計画の 特記事項に記載しております。	引き続き、マニュアルを策定し、研修を適宜実施してまいります。